

CSR

Environmental Report 2019

かけがえのない地球を守るため、私たちが今できることを・・・



トップメッセージ



かけがえのない地球を守るため、
私たちが今できることを…

小林クリエイト株式会社
代表取締役社長 小林友也

当報告書は、2018年度（2017年10月から2018年9月）の弊社が推進してきました「CSR」としての諸施策や環境活動とそのパフォーマンスデータを中心に報告します。

国内経済全般を振り返りますと、堅調な企業収益の伸びと、GDPプラス成長など安定した状態が続きました。しかし、国内情勢は異常気象や大型台風の上陸、地震発生による自然災害により、混乱の多い一年でもありました。また、海外情勢も米中貿易摩擦など不透明な状態で、今後も国内に与える影響が心配されます。さて、弊社におきましては、人手不足による物流経費の値上げや原材料である原紙の値上げなど厳しい環境の中でありましたが、前期に引き続き増収増益を達成しました。

スタートした2019年度においても更なる原材料の値上げなどの影響が懸念されていますが、その中でも企業として成長し続けるために、働き方改革は重要なテーマと捉えています。「働きやすい会社が成長する」という信念を持って、「全社、全員、全力」で取り組んでまいります。

環境活動では、環境スローガンとして、「かけがえのない地球を守るために、私たちが今できることを…」を掲げ、省エネ・省資源・廃棄物削減に向けて、各職場が単位当たりエネルギーの使用量削減、紙資源のロス低減に取り組んでおります。また、効率的な輸送による配送に関わるエネルギー削減とコスト削減も重要な課題として取り組みを強化しております。

地域社会とのコミュニケーション活動としては、近隣幼稚園・保育園などへの余材の提供活動は5年目を迎え、イベント開催の協力など、活動の幅を広げております。そのほかにも特別支援学校での就労支援や、工場周辺のクリーン活動を今後も継続し、地域社会への貢献にも積極的に努めてまいります。

今後とも、より一層CSR活動の充実を図ってまいりますので、皆様からのご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

小林クリエイトは、コミュニケーションを大切にする企業として、皆様と共に歩んでまいります。

2019年2月

環境方針・推進体制

全ての事業活動において『環境負荷の低減』『環境関連法規制の順守』『顧客からの環境関連要求事項の順守』によって、現在および未来の環境保護活動への貢献を目指します。

小林クリエイト株式会社 環境方針

小林クリエイト株式会社は、記録用紙、ビジネスフォーム製品の製造・販売、情報処理サービスなど、全ての事業活動において、経営者及び社員一人ひとりが現在及び未来の地球環境を守ることに貢献します。

環境方針

1. 環境目的・環境目標を定めて見直し、環境マネジメントシステムの自主的な維持向上と運用を通じて継続的な改善と汚染の予防に努めます。
2. 省資源、省エネルギー、環境関連物質による環境負荷の低減、廃棄物の削減、資源のリサイクル化を積極的に推進します。
3. 全従業員に環境教育を実施し、社員一人ひとりの環境活動に対する意識の向上を図ります。
4. 環境保全活動・生物多様性保全活動への積極的な参画による地域社会との共生、環境配慮型商品の開発と提供を通じて、豊かで持続可能な環境社会の実現に貢献します。
5. 環境関連法規制及びお客様からの環境関連要求事項等、当社が認める他の要求事項を順守します。
6. 環境マネジメントシステムは、本社・本社工場、安城工場、東京情報処理センターで運用を行います。
7. 環境方針は、全従業員に周知すると共に、一般への開示を行います。

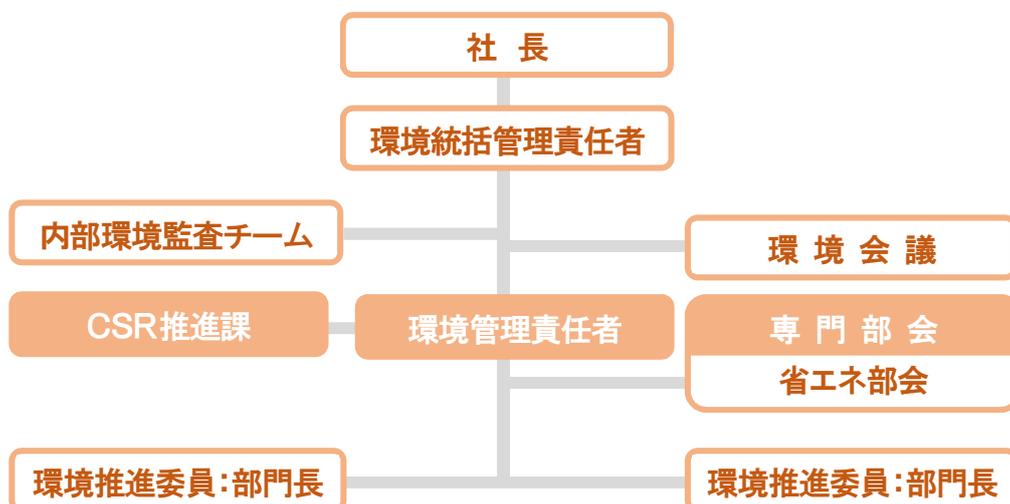
制定日 2000年 3月24日

改定日 2015年10月 1日

【環境スローガン】 かけがえのない地球を守るため、私たちが今できることを…

環境マネジメントシステムの推進体制

環境マネジメントシステム推進組織図



当社は、環境保全活動を継続的に実施するため、左記の推進体制により、活動を実施しています。活動は、推進単位と呼んでいる部門単位（あるいは部門の集合単位）で、環境推進委員と呼ばれる部門長（あるいは部門長の代表）を中心に進めています。また、専門部会を設置し、全社的な取り組みを実施しています。

コミュニケーション

要望・苦情

要望 環境ボランティア団体主催の近隣地域の清掃参加、地元ボランティア団体に余剰カレンダーの提供を行いました。

苦情 苦情は、ありませんでした。



安城市半場川の清掃活動

余剰カレンダーの提供

社会貢献活動 地域とともに

廃材・余剰資材の提供

「環境保全・教育支援」を目的として、製造工程から排出される廃材や余剰資材を地域へ無償提供する活動を行っています。愛知県刈谷市・安城市内の保育園や幼稚園、小学校の放課後子ども教室、児童館、大学での子供向けイベントなど多くの場で有効活用していただいています。

【提供資材】

- *紙材：上質紙、タック紙、白ボール等
- *段ボール：原紙包装材（丸型）、外装箱材（板）等
- *紙芯棒：ラップ、クラフトテープ、紙テープ等
- *その他：両面テープ、透明シール等



廃材や余剰資材

就労支援

特別支援学校の作業体験授業（メモ帳製作）で使う上質紙（年間60,000枚）を無償提供し活用していただいています。

作業体験の授業で製作したメモ帳



地域の就労継続支援事業所へ製品の包装などの軽作業を委託しています。



いろいろな紙管を使った造形作品



ダンボールで作ったゲーム



軽作業の様子

生物多様性

創業 60 周年に（1997 年）、本社駐車場と R419 の間に長さ 80m、幅 5m の小山を造り、1,900 本の苗木を役員・社員 300 人が植樹しました。約 20 年

生長した樹木は、種子が発芽し野鳥が集う、生物多様性、愛知目標、SDGs に貢献する環境保全を推進しています。



記念植樹（1997 年 10 月）



約 20 年後

現在の樹木と観察された野鳥

アカハラ

メジロ

キセキレイ

アオジ

セグロセキレイ

ツグミ

キジバト

ヤブツバキの芽

ウバメガシの種子

内部監査

2018年度は、延べ16名の内部監査員により、環境管理責任者、推進単位、専門部会に対して内部監査を実施しました。内部監査では、マネジメントシステムの有効性に重点を置いた監査方法を取り入れております。

年度	対象部門	是正要求件数	観察事項件数	肯定的観察事項件数
2016年度	14部門	1件	24件	7件
2017年度	14部門	5件	23件	13件
2018年度	10部門	4件	19件	9件

環境リスク

緊急事態への対応

本社及び本社工場、安城工場において、環境リスクが大きいと想定される緊急事態を特定し、直接又は間接要因で起こりうる有害な環境影響を予防・緩和するための手順を定めています。年に1回、主管部門が緊急事態の対応テストを実施し、手順の有効性を確認しています。



緊急事態対応テスト

発生場所	想定される緊急事態	生じる環境影響
本社及び本社工場		
三次処理施設	処理不能物の投入、装置故障、配管の破損・破裂による規制値オーバーの汚水の流出	水質汚濁 土壌汚染
廃油缶	廃油回収作業ミス、廃油缶の転倒・破損による防液堤外への廃油の流出	
廃液保管庫	廃液回収装置の破損・取扱不備による防液堤外への廃液の流出	水質汚濁 土壌汚染 悪臭
安城工場		
三次処理施設	処理能力の低下、処理不能物の投入、装置故障、配管の破損・破裂による規制値オーバーの汚水の流出	水質汚濁 土壌汚染
危険物屋内貯蔵所	貯蔵所崩壊、容器破損による溶剤、油の流出	
廃糊コンテナ	コンテナ・防液堤の破損による廃糊液の流出	

発生事故とその対応

本年度に発生した事故が2件ありました。

事象	原因	対策
印刷機の湿し水装置のアルコール自動供給装置付近より出火し、湿し水装置などが焼損した。	湿し水装置のアルコール自動供給装置からアルコールが漏れ、電源配線に付着しスパークして引火した。	アルコール自動供給装置の使用を中止し、撤去した。
水棒処理施設の攪拌設備から工場排水が、施設内部に流出した。	攪拌設備の水位計カバーの隙間から雨水が入り込み、水位計に付着し、一時的に満水が、正しく検知されなかった。	水位計カバーの隙間をコーキングし、雨水が入り込まないようにした。

環境パフォーマンス

環境への改善活動を効果的に進めていくために、自らが発生させている環境への負荷やそれに係る対策の成果を常に把握し監視しています。

化学物質管理 (PRTR 法該当物質取扱量内訳)

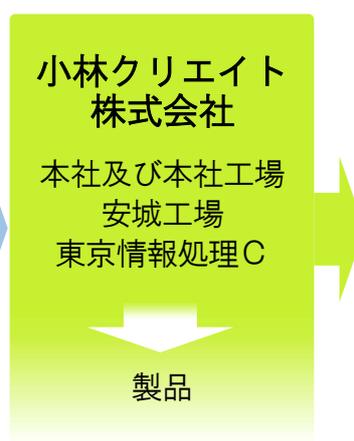
物質名	取扱量(kg)	%
1,2,4-トリメチルベンゼン	1,688	70.1
トルエン	280	11.6
ほう素化合物	234	9.7
マンガン化合物	117	4.9
その他	89	3.7
合計	2,408	100.0

エコバランス

当社が2018年度の事業活動を行うにあたり、投入された資源の量と発生した環境負荷を集計しました。

INPUT

エネルギー	電気	13,953 千kwh
	都市ガス	289 千m ³
	LPガス(オートガス)	5 t
	重油	0kL
	ガソリン・軽油・灯油	32 kL
原副材料	原紙	18,099 t
	インキ・糊・溶剤	227 t
	フィルム・版材	9 t
	梱包材 など	746 t
水	上水・地下水	14 千m ³



OUTPUT

廃棄物	総廃棄物量	4,073 t
	焼却・埋め立て廃棄物量	50 t
	ヤレ紙発生量 (紙へのリサイクル)	2,866 t (2,390 t)
排水	処理水量	7 千m ³
	CO ₂ 排出量	7,541 t CO ₂

パフォーマンスデータ

エネルギー投入量	単位	本社及び本社工場			安城工場			東京情報処理C		
		2016	2017	2018	2016	2017	2018	2016	2017	2018
電気使用量	千kwh	10,690	10,668	10,643	2,066	2,137	2,183	1,146	1,086	1,127
ガス使用量	千m ³	250	258	258	35	32	31	-	-	-
排出量データ	単位	2016	2017	2018	2016	2017	2018	2016	2017	2018
CO ₂ 排出量	t CO ₂	6,101	6,108	5,813	1,137	1,167	1,130	608	577	598
総廃棄物量	t	3,119	3,114	3,088	747	781	786	258	222	199
インキ廃棄量	t	6.5	3.3	4.4	0.2	0.3	0.3	0.4	0.9	0.6
糊廃棄量	t	4.2	3.4	3.5	0.0	0.0	0.0	-	-	-

CSRの取組み

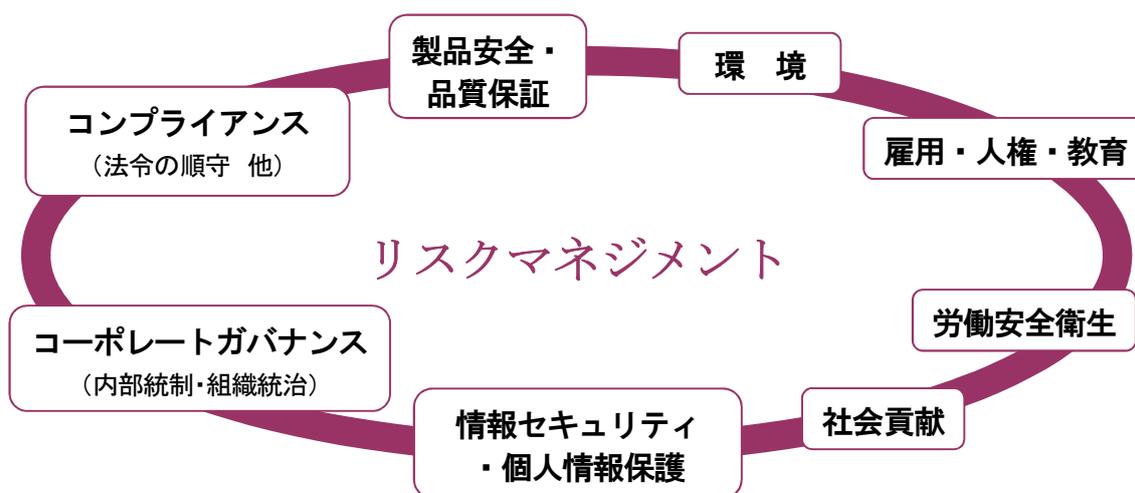
当報告書では、当社が推進してきました“CSR”として包括される諸事項について、施策毎の切り口より、これまでの主な取組みや体制及び直近の主要な取組みの内容についてご報告しています。

小林クリエイト株式会社のCSR

当社のCSR推進における基本は「社訓」「経営理念」とし、各施策やマネジメントシステム毎に適切な基本方針を設定し運用しています。

社訓・経営理念

CSRの推進に当たっては、創業以来『社訓』として掲げてまいりました「誠実・感謝・和協・愛情・奉仕」を基調に、『経営理念』を掲げ、社員への自覚を啓蒙しています。



コーポレートガバナンス、コンプライアンスへの取組み

当社は、取締役会、監査役会設置会社として経営に関わる内部統制を行っています。

品質管理への取組み

製品製造に関わる全工程においてISO9001（品質マネジメントシステム）の認証を取得しており、“お客様にご満足頂ける製品・サービス”のご提案・ご提供を目指してまいります。

リスクマネジメントへの取組み

「リスクマネジメント基本規程」を制定し、会社を取り巻く各種のリスクを評価し取り組むべき課題を明確にしています。

労働安全衛生の取組み

法令を順守し、さらに職場における危険性や有害性を調査し、その結果に基づいて災害防止策を講じています。

情報セキュリティ・個人情報保護への取組み

お客様からお預かりした情報（データ）や個人情報の機密性を最大限に確保することを重要な課題と位置づけ、プライバシーマーク認証、ISMS認証を取得し確実な運用と継続的改善を進めています。

小林クリエイト株式会社

<http://k-cr.jp>

本社 〒448-8656 愛知県刈谷市小垣江町北高根 1 1 5 番地
TEL 0566-26-5310 FAX 0566-26-5308

お問い合わせ先

CSR推進課

〒448-8656 愛知県刈谷市小垣江町北高根 1 1 5 番地
TEL 0566-26-5201 FAX 0566-26-5399
e-mail csr@k-cr.jp



認証サイト：本社及び本社工場 安城工場
東京情報処理センター